

かすみがうら市(かすみがうらし)

 市章 〒 315-8512 〈住所〉かすみがうら市上土田461番地 〈TEL〉0299-59-2111 〈FAX〉0299-59-2130 〈HP〉https://www.city.kasumigaura.lg.jp 〈e-mail〉info@city.kasumigaura.lg.jp	地域指定 都市開発(一部区域) 過疎(一部区域)		法人番号 8000020082309
	一部事務組合加入事業 退職手当 消防賞じゆつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 し尿 ごみ ごみ処理広域化 火葬場	公営企業 <small>※令和8年3月31日現在</small> 法適用(上水 公共下水 特定環境下水 農業集落排水)	
類型 I-1 地方公共団体コード 082309 面積 156.60 km ²			

<行政組織>

①長等(令和8年5月1日現在)

長	みやじま けん 宮嶋 謙 (62歳)	任期	令和8年7月22日
		就任回数	1 期目
副市長	飯塚 一政		

②議会(令和8年5月1日現在)

議長	来栖 丈治	副議長	設楽 健夫
任期	令和9年1月27日	条例定数	16 人
現議員数	16 人	党派別	公明1人、共産1人、国民民主1人、無所属13人

③職員数(令和7年4月1日現在) (人)

全職員数	普通会計関係		公営事業会計関係	
	うち一般行政関係			
378	354	242	24	
一般行政職の平均給料月額	3,303 百円	ラスパイルズ指数 97.1	地域手当補正後ラス指数	97.1
全職員数の推移	令和4年4月1日	令和5年4月1日	令和6年4月1日	
	397	389	387	

④機構図(令和8年4月1日現在)

<市長>-<副市長>-

総務企画部-総務課、経営企画課、秘書人事課、情報広報課

市民部-環境防災課、地域コミュニティ課、市民課、税務課

保健福祉部-社会福祉課、介護長寿課、子育て支援課、健康増進課、国保年金課

産業経済部-農林水産課、商工観光課

都市建設部-都市整備課、道路課

<公営企業>
都市建設部-上下水道課

<会計管理者>
会計事務局-会計課

<教育長>
教育委員会事務局-学校教育課、生涯学習課

<消防長>
消防本部-消防総務課、警防課、予防課
西消防署、東消防署

<議会>
議会事務局-議会総務課

<行政委員会>
農業委員会事務局、選挙管理委員会事務局
監査委員事務局、固定資産評価審査委員会

<概要>

①沿革

平成17年3月28日 合併 霞ヶ浦町 千代田町

②地勢・風土等

霞ヶ浦と筑波山系の南麓に挟まれ、大地には畑や平地林、低地には水稲やレンコンなどの水田が広がっている。また、JR常磐線の神立駅周辺や幹線道路沿いでは市街地が形成されている。豊かな自然のもと、市民の安全・安心な暮らしを支えるまちづくりを進めるとともに、活力ある元気な地域へと発展させていくことを目指して、将来都市像『きらり輝く湖(みず)と山(みどり) 笑顔と活気のふれあい都市～未来へ紡ぐ安心とやさしさの郷(さと) かすみがうら～』を掲げている。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (令和8年4月1日)	
	平成22年	平成27年	令和2年		
人口	男	21,846	21,331	20,341	19,329
	女	21,707	20,816	19,746	18,691
	合計	43,553	42,147	40,087	38,020
世帯数	14,730	15,142	15,271	16,326	

④有権者数(令和8年3月2日現在) ⑤高齢人口割合 (R8.1.1住基人口)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	16,700	16,272	32,972	

<産業・経済>

①生産・所得(令和5年度)

市町村内総生産	1,759 億円	住民所得	1,298 億円
		人口1人当り住民所得	3,312 千円

②産業構造 (百万円・人)

区分	総生産額(令和5年度)		就業人口(令和2年国調)	
第1次	9,179	5.2 %	2,145	10.5 %
第2次	74,782	42.5 %	6,287	30.9 %
第3次	90,307	51.3 %	11,909	58.5 %
総額・総数	175,925	—	20,341	—

③農業・工業・商業 (戸・事業所・人・百万円)

農業 (令和2年2月1日)	農家数	2,072	主業農家数	289	農業就業人口	2,971
製造業 (令和6年6月1日)	事業所数	78	従業者数	5,264	製造品出荷額等 (R5.1.1～12.31)	262,353
卸・小売業 (令和4年6月1日)	事業所数	254	従業者数	2,149	年間販売額 (R3.1.1～12.31)	66,340

④特産物

梨、栗、柿、ぶどう、いちご、ブルーベリー、レンコン、やきいも、シラウオ、ワカサギ、佃煮

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	令和5年度決算	令和6年度決算	増減率
歳入	19,861,655	19,557,735	△ 1.5
歳出	19,053,593	18,768,988	△ 1.5
形式収支	808,062	788,747	-
実質収支	699,298	736,556	-
単年度収支	25,913	37,258	-
実質単年度収支	△ 611,405	337,969	-

②主な歳入・歳出(令和6年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	19,558	-	△ 304	△ 1.5
地方税	5,692	29.1	△ 100	△ 1.7
地方交付税	4,661	23.8	120	2.6
国庫支出金	3,067	15.7	△ 39	△ 1.3
地方債	1,147	5.9	△ 108	△ 8.6
うち臨財債	46	0.2	△ 52	△ 53.1
その他	4,991	25.5	△ 177	△ 3.4
うち繰入金	376	1.9	△ 525	△ 58.3
歳出	18,769	-	△ 285	△ 1.5
義務的経費	9,353	49.9	170	1.9
人件費	3,381	18.0	65	2.0
扶助費	4,064	21.7	183	4.7
公債費	1,908	10.2	△ 78	△ 3.9
投資的経費	1,608	8.6	△ 363	△ 18.4
普通建設事業費	1,608	8.6	△ 363	△ 18.4
うち補助	445	2.4	△ 980	△ 68.8
うち単独	1,145	6.1	613	115.2
その他の経費	7,808	41.5	△ 92	△ 1.2
うち繰出金	1,482	7.9	14	1.0

③主要指標(令和6年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (13.09)
連結実質赤字比率	- % (18.09)
実質公債費比率	8.5 % (25.0) [6.7]
将来負担比率	47.4 % (350.0) [27.8]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和7年度)	0.571	[0.666]
経常収支比率	87.3 %	[93.0]
標準財政規模(令和7年度)	11,859 百万円	[17,283]
地方債現在高(A)	18,638 百万円	[25,031]
債務負担行為支出予定額(B)	2,867 百万円	[5,771]
積立金現在高(C)	5,537 百万円	[7,792]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	15,968 百万円	[23,010]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和6年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	2,146,327 (36.4)	2,051,515 (36.0)	95.6 [97.0]
市町村民税・法人 (構成比)	447,231 (7.6)	440,318 (7.7)	98.5 [98.8]
固定資産税 (構成比)	2,832,711 (48.0)	2,738,992 (48.1)	96.7 [97.4]
市町村税合計 (国保除く)	5,899,945	5,691,706	96.5 [97.4]

<公共施設整備状況>(令和6年度)

※1は令和7年度
道路改良率・舗装率は令和5年度

小学校 ※1	5 校	体育館	3 か所
中学校 ※1	3 校	プール	1 か所
義務教育学校 ※1	1 校	児童館	2 か所
幼稚園 ※1	1 園	老人福祉施設	29 か所
保育所 ※1	6 か所	病院・一般診療所	24 か所
認定こども園 ※1	3 園	道路改良率	25.9 %
図書館	2 か所	道路舗装率	54.4 %
公営住宅	0 戸	上水道等普及率	97.6 %
公民館等	3 か所	汚水処理普及率	94.6 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算 事業費
消防庁舎整備工事	R8 ～ R9	老朽化が著しい消防本部、西・東消防署の3施設を移転整備し、消防活動拠点として機能の維持・改善を図る	775
中学校給食室改修工事	R8 ～ R9	中学校の給食室を改修(増改築)し、安全安心かつ安定的な学校給食の提供を図る	128
霞ヶ浦コミュニティセンター空調設備等更新工事	R8	老朽化した空調設備及び照明器具の更新し、霞ヶ浦地区の中心施設として、機能の充実、長寿命化を図る	303
神立停車場線道路照明施設設置工事	R7 ～ R8	JR神立駅周辺の利便性向上及び市民が居心地よく歩いて暮らせる快適な歩行空間を形成	72
宅地化促進事業	R8 ～	市街地の低密度化を防ぐとともに、定住人口の確保と地域の活力向上を図る	25

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・人口減少・少子高齢化の対応
- ・公共施設の老朽化対策
- ・民間活力を活用した中心市街地の活性化
- ・産業用地の確保

<特色ある行政>

- ・通学用自転車シェアリング事業
- ・多文化共生のまちづくり
- ・有機農業の推進
- ・地域活性化DMO推進
- ・子育て世帯の支援強化